第13回潜熱工学シンポジウム原稿の書き方（和文表題：Gothic 14pt）

MS-Wordの場合（和文副題：Gothic 12pt）

Guide for the manuscripts (英文表題: Times New Roman 12pt)

The case of MS-Word (英文副題: Times New Roman 12pt)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 潜正 | \* | 潜熱　一郎 | （潜熱大） |  | 潜学 |  | 神戸　太郎 | （潜熱工大） |

和文著者名　複数用（表を使って揃えます．罫線は印刷されません）

Ichiro SENNETSU1 and Taro KOBE2 (英文著者名: Times New Roman 10pt)

1Dept. of Chem. Eng., Sennetsu Univ., Sennetsu-shi, Sennetsu 123-4567

2Dept. of Mech. Eng., Sennetsu Inst. of Tech., Sennetsu-shi, Sennetsu 123-4567

（文頭に半角スペース5つを挿入する）English abstract ..... （英文アブストラクト：Times New Roman 10pt, 100語程度）

*Key Words :* Key1, Key2, Key3, Key4（英文キーワード：Times New Roman 9pt, 3～5個程度）

1. 大見出し

1.1　中見出し　中見出しの場合は，本文を続けてはじめます．大見出しは改行し，中見出しの場合は本文を続けます．

1.2　原稿の種別　講演論文の長さは１題目あたりA4サイズで2ページとします．原稿の作成には，本ファイルをテンプレートとしてお使い下さい．

講演論文の作成様式は，2段組×片側26字×60行とします． カラーで作成された原稿についても，モノクロ印刷をします．

1.3　本文の書式　本文は9ポイント明朝体の2段組（片側1行26字程度）で作成して下さい．2ページ目は，先頭から2段組とし，片側60行を目安として作成して下さい．

2. 数式，表，図の書き方

2.1　数式サンプル　数式(1)のように，数式スタイルを適用し，タブを挿入し，式番号を右端に付します．

 (1)

2.2　表サンプル　表１のように，表中の記号およびキャプションは英語で書きます．塗り，ハッチングはできるだけ利用しないで下さい．

Table 1 Sample table.

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A | a | 1 |
| B | b | 2 |
| C | c | 3 |
| D | d | 4 |

2.3　図サンプル　図１のように，図中の記号およびキャプションは英語で書きます．

3. 参考文献の引用の仕方

参考文献は，本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけた番号(1)で表し，本文の末尾に下記のようにまとめて列記します．

(番号) 著者名, 雑誌略称, 巻-号(発行年), 先頭ページ番号．



Fig. 1 Sample figure

4. 原稿提出について

4.1　PDFファイル　PDFファイルの作成にあたり，「フォントの埋め込みを行う」よう設定して下さい．原稿は，提出前に必ず印刷したものを確認して下さい．

4.2　原稿提出　原稿の提出は下記の第13回潜熱工学シンポジウムのウェブサイトから行ってください．提出期限は2024年10月25日正午です．

https://www.cc.okayama-u.ac.jp/latentheat/13thLatentheatSymp/

第13回潜熱工学シンポジウム事務局（担当　中曽）

knakaso@okayama-u.ac.jp

参考文献

(1) 潜熱・他2名，潜工論，12-345(2013), 1234.

2ページ目